


給食用食器について検討しています

現在、教育委員会では江別市学校給食用食器検討委員会を設置して、給食で使う食器をどのようにしていけば良いかについて検討しています。

まだ結論はでていませんが、検討をすることになった理由や、どんな検討をしているかをお知らせします。

【江別市で使っている食器は？】

過去、プラスチック食器、天然石食器を導入していたこともありましたが、平成24年から、小皿中皿カップで強化磁器製の食器を使用しています。

良いところ	<ul style="list-style-type: none"> • 硬く、傷がつきにくい。 • 薬品に強く、洗浄がしやすい。 • 天然の鉱物から作られていて、化学物質が溶け出す心配がない。 	
悪いところ	<ul style="list-style-type: none"> • 衝撃に弱く、割れてしまう。 • 割れた時の欠片が細かく、鋭いため、危ない。 • 重いので、給食の準備のときに児童生徒の負担が大きい。 	

【どうして検討しているの？】

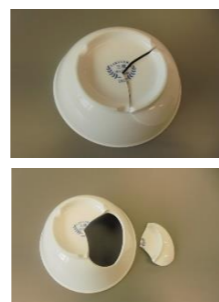
安全安心な学校給食を提供するためには、食器も安全安心でなければなりません。一方で、児童生徒が給食を準備する際に食器が割れてしまい、その欠片が食缶に入ってしまう事案が発生しています。

欠片が入った食缶は使用しなかったため、その時は大事に至りませんでした。万が一、児童生徒が割れた食器の欠片を飲み込んでしまった場合には大変です。

そうした事態を防ぐためにはどうしたら良いのか、現在の食器を使用したまま対策を講じるか、食器を変更した方が良いのか検討を行うことにしました。

【頻繁に事故が起こっているの？】

- 市内の小中学校25校で、年間で約1,300件くらいの破損が起きています。
- 食缶に入ったかもしれないということで食べられなくなった事故が年に数回、配膳された食器に細かなヒビがあり、怪我をした事故も起きています。
- 欠片を飲み込んでしまう事故は発生していません。
(他市では口の中に入れた事例あり)



<第1回食器検討委員会資料より>

【どんな検討をしているの？】

令和7年12月に第1回、令和8年2月に第2回の検討委員会を開催しています。

◆これまでに検討していること ※委員からの発言等

- ①強化磁器食器の長所と短所（前ページに記載）
- ②現状を変える必要があるか
現状は、破片による怪我や飲み込む危険がある状態となっており、対策を講じる必要がある。
- ③事故を防ぐために良い方法があるか
給食センター、配膳室では毎日、複数回、劣化状況を慎重に確認している。また、学校でも児童生徒に食器の取り扱いについて十分な指導をしているが、事故を完全に防ぐというのは難しいのではないかと。
- ④もっと丈夫な磁器食器に変更するのはどうか
今よりも丈夫な磁器食器はあり、これに変更したら破損数は減ると思うが、全く割れない訳ではなく、事故のリスクは完全に取り除かれない。
- ⑤プラスチック食器に変更するのはどうか
導入する自治体が増えているのは事実であるが、食育への影響や現在の食器をどうするのかなどを総合的に考える必要がある。
- ⑥木やガラスなど、他の素材の食器に変更するのはどうか
児童生徒数が少ないなど小規模であれば対応できるかもしれないが、江別市規模（約9,000人）になると数量の確保や衛生面などで導入は難しい。
- ⑦他市町村ではどのような食器が使用されているのか
全国的には強化磁器食器が22%、プラスチック食器が65%程度使用されている。他にも木やガラスなどの素材の食器が使用されている。

○ 江別市学校給食用食器検討委員会の詳細は下記ホームページに掲載していますので、ご覧ください。

江別市学校給食用食器検討委員会

検索



○ 給食用食器に関するご意見等をお寄せください。

<https://logoform.jp/form/PwCT/1555785>

